



真龍小便い

【学校の教育目標】
☆心と体をきたえる子
☆美しい心をもつ子
☆考えて行動する子
☆生き生きと学ぶ子

No.10 令和5年11月30日発行

「子どもたちの行動から学ぶこと」

校長 斉藤 直彦

毎日、子どもたちの様子を見ていたり、子どもたちとかかわったりしていると、大人の私の方が学ぶ場面に遭遇します。

① 朝、いつものように玄関で子どもたちとあいさつを交わしていると、一匹のわらし虫が床を歩いていました。子どもたちが何人も通る場所なので、あまりよろしくないなと思い、登校してきた1年生に、「教室にあるほうきとちりとりを持ってきてくれる？」と頼んで持ってきてもらいました。私がそのほうきでちりとりの上にわらし虫を乗せると、その1年生は、「外に逃がしてあげた方がいいと思う。」と言いました。私は、この言葉から、生命を尊重する心をあらためて教わりました。

② ある3年生が、「校長先生の仕事で、大変なことはどんなことですか？」という質問を私にしました。私は、「がんばっても、がんばっても、うまくいかないときに、大変だなあ、と感じるよ。みんなにも、漢字練習をたくさん頑張っても、うまくいかない時があるように、校長先生にもあるよ。でも、そんなときは、がんばるのをあきらめないで、やり方をかえて頑張っているよ。」と答えました。その3年生は、私の話をうなずきながら私の目を見て聞いてくれました。私がその3年生に相談にのってもらっているような気がして、気持ちが少し軽くなりました。

③ ある6年生の行動です。朝の登校の際に玄関に入ったあと、その6年生の後ろから低学年の子どもが来ているのを察して、低学年の子どもが通り過ぎるまでドアを押さえていました。違う日に、数人の子どもたちが6年生の後ろから玄関に入ろうとしているのを見ると、ドアストッパーをかけて、通りやすくしていました。また違う日に、いつもは、6年生の下駄箱近くの消毒液を使っていますが、その日は、6年生の後から1年生が歩いて向かっていたので、その6年生はいつもの消毒液を使わずに、人が並んでいない別なところにある消毒液を使っていました。この6年生の姿から、配慮の大切さを学びました。



書いているときりがないくらい、毎日たくさんのことを学んでいます。でも、その場では学んでも、時間がたつと忘れてしまうこともたくさんあるので、最近学んだことを3つだけ載せさせていただきました。

日	曜	12月の主な行事
1	金	厚岸町標準学力調査 配本日
2	土	
3	日	
4	月	講話朝会
5	火	短縮日課
6	水	第4回 PTA 役員会 18:30
7	木	短縮日課 読み聞かせ(2年生中休み)
8	金	短縮日課 生きがい大学交流(4年)
9	土	
10	日	
11	月	児童朝会
12	火	短縮日課
13	水	ハンカチ・ティッシュ点検3・4年生(真小タイム)委員会(後期反省)
14	木	短縮日課
15	金	短縮日課
16	土	
17	日	
18	月	ハンカチ・ティッシュ点検1・2年生(真小タイム)大掃除週間~22日
19	火	短縮日課
20	水	クラブ⑥(最終) SC 来校
21	木	短縮日課 朝読書回収日
22	金	講話朝会 後期第1ステージ終了交通安全指導日
23	土	冬季休業開始(~1/16)
24	日	
25	月	
26	火	子ども未来ミーティング
27	水	
28	木	
29	金	学校閉庁日
30	土	学校閉庁日
31	日	学校閉庁日

「ながら見守り」のお願い

12月の帰宅時刻 16:00**この時間以降の外出は保護者同伴をお願いします。**

児童の下校時刻に合わせて、また夏冬春休み中は日中家の外に出て、庭作業や掃除などを行いながら、同時に児童の見守りを行う「ながら見守り」への協力をお願い致します。

授業参観日

11月21日(火)に1～3年生、22日(水)に4～6年生の授業参観がありました。子ども達は、お家の方が教室に来てくれるということで、いつもより少しはりきっている様子が見られました。

6年生は、体育館を会場にして「喫煙防止教室」を行いました。保健師の方を講師にお招きし、タバコの害や依存症などについて、保護者の皆さんと一緒に学びました。その他の教室でも、自分の意見を積極的に発表したり、友達の考えに耳を傾けたりと、子ども達が進んで学習に取り組んでいる様子が見られたのではないかと思います。お忙しい中参観して下さった保護者の皆様、ありがとうございました。



郵便局出前授業

11月27日(月)、厚岸郵便局の職員の方々を講師としてお招きし、2年生と5年生を対象に郵便局出前授業を行いました。郵便番号の仕組みや手紙の書き方などについて、とてもわかりやすく教えていただきました。がんばって書いた年賀状が届くお正月が、今から楽しみです。お忙しい中ご協力いただいた厚岸郵便局の皆様、ありがとうございました。



校内作品展

11月20日(月)から12月1日(金)の期間、1階ホールにて、全学年の絵画作品が展示されました。「第1学年 あさがおとひまわり」「第2学年 アレクサンダとぜんまいネズミ」「第3学年 ことばから形や未来」「第4学年 忘れられない思い出(お気に入りのもの)」「第5学年 校舎」「第6学年 厚岸大橋」です。子ども達はもちろん、参観日等でご来校いただいた保護者や地域の方も足を止めて鑑賞してくださいました。ありがとうございました。



安全な登校のためのお願い

登校時、お車でお子さんを送って来られる保護者の皆様にお願ひです。校門出口の交差点付近に停車して子どもを降ろしていると、それを追い越そうとする車や校門から出る車などで子どもの姿が死角に入り、大変危険です。

朝の登校時は車が込み合い、お子さんを車から降ろして送り出すまでに時間が掛かってしまうこともあるかと思いますが、子ども達の安全確保のために、学校の敷地内でお子さんを車から降ろすようにご協力をお願いいたします。

いじめ防止対策委員会の活動から

10月に今年度第2回目のいじめアンケートを行いました。今回も「あなたは、嫌な思いをしたことがありますか」という質問する形で行われました。このアンケートの結果、

「4月から嫌な思いをしたことがある」
➡53人(第1回目42人)

また、その内訳は、

冷やかしかからかい、悪口をいわれる	37人
仲間はすれや無視をされる	21人
軽くぶつかられたり、遊ぶふりをしてたたかれたりする	14人
ひどくぶつかられたり、たたかれたり、蹴られたりする	13人
お金や持ち物をかくされたり、いたずらされたりする	4人
恥ずかしいことや危険なことをされたり、させられたりする	5人
メールや無料通話アプリ(SNS等)で悪口を書かれたり、仲間はすれにされたりする	1人

その内、今も嫌な思いをしている子が28人でした。

このアンケートをもとに、担任が全ての子どもと個別の面談をし、「どんな嫌な思いをしたのか」などの聞き取りや、指導、支援を行っています。

友達とのトラブルや人間関係についての悩みは、成長と共に増え、複雑化する傾向にあります。子ども達だけで解決できない場合は、大人がそっと手を差し伸べることも必要です。今回の調査で「いやな思いをした時、誰に相談しますか」という設問で一番回答数が多かったのが「エ 父や母」(次点で「ア 学校の先生」)です。お子さんの様子で何かご心配なことがありましたら、学校までご連絡くださいますようお願いいたします。

真龍小学校便り おすすめ本(R5.12月号)

『ヒグマ・ノート』

発行：ヒグマの会

学校司書： 小島郁子

『ヒグマ・ノート』は、酪農学園大学農食環境学群環境共生学類 野生動物生態学研究室に事務局を置く、「ヒグマの会」が発行した小冊子です。

私はこの小冊子を、知床羅臼ビジターセンターで入手しました。ご存じのとおり、知床はヒグマの生息地として有名ですが、最近は札幌市などの市街地にも頻繁にヒグマが出没するようになってきました。厚岸町も例外ではなく、ヒグマの目撃情報が後を絶ちません。ヒグマと人との距離感がこれまで以上に縮まっています。

ヒグマによる人への襲撃は、人側の対応の間違いによって引き起こされる場合がほとんどです。悲惨な事故を起こさないためにも、ヒグマについての正しい知識を持つことが必要です。そのために、学校図書館では「クマを知ろう」という展示を行っています。この小冊子も展示してあります。図書館だよりに掲載した「クマを知ろう〇×クイズ」には、十数名の児童の参加があり、全問正解者が多くて感心しました。

この『ヒグマ・ノート』には、ヒグマの体やその一生、性格・行動の特徴、ヒグマによる農業被害や事故、ヒグマから身を守る方法などがわかりやすく書いてあります。貸出可能ですので、お子さんに借りてもらって、おうちで一緒に読んでいただけるとうれしいです。

